

あなたの街の

自然災害伝承碑 を 地図へ載せてみませんか？

新たな地図記号
『自然災害伝承碑』



自然災害の被災地の中には、昔の被害を今に伝える石碑がある。それは、後世に二度と同じ思いをさせまいと残した、先人たちのメッセージ。

この石碑を地図記号として地図化する等、市区町村と連携して災害教訓をわかり易く世の中に伝え、広げるための取組を行っています。



自然災害伝承碑紹介サイト

※自然災害伝承碑とは、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。

※地図への掲載は、市町村からの申請が必要です。情報をお寄せください。

自然災害伝承碑

出典:大阪府警察



地形等により受けやすい災害がある
災害は同様の場所で再び発生



地理院地図
表示アイコン



地理院地図 (自然災害伝承碑を表示)



地図記号



※以前は、概念的に記念碑 [U] (ある出来事や人の功績などを記念して建てられた碑やモニュメント) に含まれていました。

自然災害伝承碑の分布

全国の公開数

602市区町村 2,099基
(令和6年3月28日現在)

- 県内の碑
- 県外の碑

富山県内の公開数

4市町 14基

富山市 4基、南砺市 1基、
射水市 7基、立山町 2基

「自然災害伝承碑」の代表事例

中川原の大石

洪水・土砂災害・地震 (富山県富山市)

慰霊碑

その他(雪崩)(富山県南砺市)

中川原の大石	
碑名	中川原の大石
災害名	飛越地震 (1858年4月9日) 土石流 (1858年6月7日)
災害種別	洪水・土砂災害・地震
建立年	2019
所在地	富山県富山市中川原
伝承内容	安政5年2月26日(1858年4月9日)の飛越地震により、大蔵・小蔵山が崩壊し湯川を塞ぎ止めた天然ダムとなり、同年4月26日(旧暦)に決壊、土石流となって巨石を押し流し大洪水となって常陸寺川下流の扇状地に氾濫した。この大石(重さ約5t)はその時に流されてきたと言われ、宅地開発により西北西139mの場所から移動した。
制限事項	




ID:16201-004

慰霊碑	
碑名	慰霊碑
災害名	漆谷のアワ (1940年1月28日)
災害種別	その他
建立年	1990
所在地	富山県南砺市漆谷 (漆谷念仏道場)
伝承内容	昭和15年(1940)1月24日から降り始めた雪は連日連夜降り続いた。1月28日午後、上の村の人たちは、念佛道場の雪降しのため雪をかき分け村中谷にさしかかったところ、表層雪崩が発生し、民家4戸と13名の尊い生命を奪った。




ID:16210-001